



平成29年度室蘭工業大学公開講座

最先端高度技術講座(研究成果紹介シリーズⅠ)

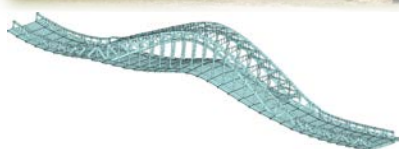
地域活性化の拠点としての役割を果たすべく、地域に貢献する取組みとして本学の最先端の研究をご紹介します。

「振動計測による構造物の状態評価」

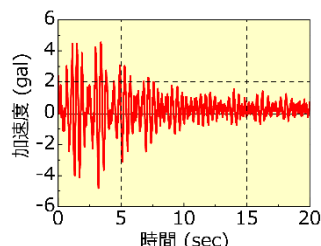
くらし環境系領域 准教授 小室 雅人

講演内容の概要

我が国の膨大な社会基盤施設は高度成長期に建設され、その老朽化対策が大きな問題となっている。このような状況のもと、近年ではそれらの構造物の状態を適切に評価・把握する手法の一つとして、振動計測を用いた診断方法（SHM, Structural Health Monitoring）が研究・実用化されている。本講座では、その基本的な考え方と、北海道内の橋梁などを中心に適用した事例の幾つかを紹介する。



▲旭橋（旭川市）と固有振動モードの一例



▲加速度波形の一例



◀サーボ型振動計

日時：平成29年6月30日（金）18時00分～19時30分

会場：テクノアゴラ（室蘭市輪西町2丁目2 横山アパート1階）

（駐車場は、市民会館の駐車場をご利用願います。）

定員：30名（先着順）

講習料：1,000円（ただし、CRDセンター研究協力会会員企業及び国・地方公共団体職員は無料）

申込期間：平成29年6月12日（月）～6月23日（金）

申込方法：本学のホームページ又はFAX、メールでお申し込みください。

申込先：〒050-8585 室蘭市水元町27番1号

室蘭工業大学 総務広報課 広報地域連携係

FAX: 0143-46-5032 TEL: 0143-46-5016

E-mail: chiiki@mmm.muroran-it.ac.jp

主催：室蘭工業大学 社会連携統括本部

共催：室蘭工業大学地域共同研究開発センター研究協力会